

## 横手市剣道連盟の紹介

本剣道連盟のある横手市は、秋田県南部の中心都市にあります。2005年（平成17年）10月1日に、近隣8市町村（旧横手市、平鹿郡に属する増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十文字町、山内村、大雄村）が合併し、新制横手市として発足しました。この合併により、一時的に県庁所在地である秋田市に次いで、人口10万人を超える県内第2の都市となりました。現在の人口は9万3千400人程です。有数の豪雪地帯で、冬の小正月行事の「かまくら」や全国B級グルメでチャンピオンとなった「横手やきそば」などが全国的に知られています。この合併により、これまで以上に魅力ある都市となりました。旧横手市が1985年（昭和60年）5月24日に厚木市と姉妹都市提携を結び、現在まで交流を続けております。

明治、大正、昭和の初期にかけて全国に名声を轟かせた横手市羽黒町出身の剣豪上遠野秀忠氏（剣道範士、槍術範士）の誕生した地区であり、多くの名剣士を輩出させてきました。戦前には、若林信治先生（武専教授、剣道範士）や古川汎仁氏先生（剣道範士）の指導により、多くの栄冠をもたらしました。また、増田町において剣友が集い増田尚志会を結成し、明治中期より稽古に励み、鈴木哲次氏が天覧武道会（昭和15年）に出場しています。



昭和28年剣道禁止通達解除にともない、横手市平鹿郡剣道連盟を発足させました。初代会長に若林信治先生、副会長に石田弥之助先生、古川汎仁先生、理事長に戸澤広海先生で組織され、剣道普及に貢献されました。

平成17年の合併に伴い横手市剣道連盟と名称を変更し、現在登録している一般会員数は100名前後です。発足から続けられている木曜稽古会は、現在毎週木曜日と土曜日の2回、横手市武道館で、近隣他地区の剣道愛好家も多く参加を得て、継続されています。また、各地区で幼少年の指導にあたり、剣道の普及にあたっています。平成20年まで本連盟の会長を務められた最上慶治先生が、長きにわたり剣道指導者としてご尽力された功績が認められ、昨年全日本剣道連盟より剣道有効賞を授賞されました。

この度、横手市と姉妹都市であるとのことで、厚木剣道連盟様より「2014あつぎ国際剣道祭」へのお誘いをいただき、本連盟を代表して高橋英夫会長と今野憲夫副会長が参加させていただくことになりました。この剣道祭での稽古や交流会等を通じて、交剣知愛を深めさせていただきたいと思っております。（文責：横手市剣道連盟事務局長 糸井一保）